

幼年時代のインプリンティング ～ 愛の感化力 ～

2023 年 12 月 14 日早朝 アメリカワシントン州に在住の娘から Mt. Rainier の写真が送られて来た(画像)。大いに心が癒された。【It was nice to talk to you this morning! We are so excited to see you and Mama in Pennsylvania at Christmas time! I thought Mt. Rainier looked so pretty today with all the snow and a clear blue sky! I love that it makes me think of you every time I see Mt. Rainier.】

【Mt. Rainier(レーニア山)は、アメリカ西海岸の北部ワシントン州にあり、カスケード山脈の最高峰である成層火山である。高さは 4,392m】とのことである。

晴天の今朝(12 月 14 日)、我が家から、壮大の雪の富士山を拝見した。筆者は、幼年時代から今は亡き母に【誕生の年の初夢に富士山を見た＝『富士山子』】と毎日母に励まされた。故に『富士山』には特別な思いがある。幼年時代のインプリンティングは生涯に影響を与える様である。幼年期の教育の重要性を痛感する今日この頃である。

筆者の母は、島根県出雲市大社町鶴峠の自宅に於いて、安らかに 96 歳(1923 年 2 月 20 日～2019 年 6 月 3 日)の天寿を全うした。母の兄達は、太平洋戦争で戦死し、末っ子の母が我が家を継いだ。そして、祖父から『樋野興夫＝ひのおきお＝Origin of Fire』(画像)と命名されたとのことである。葬儀では、筆者は喪主として、『天寿を全うし、地上の長い旅路を歩み、様々の責任を全うし、召された母に深い敬意を払います』と挨拶をしたことが鮮明に思い出された。

【無医村で小学校も中学校も廃校になった。人口 37 名、60%の空き家の鶴峠の海辺に行き、日本海を眺めながら、『何故に、この母からこの世に、生まれたのか?』&『何の為に、この地で、生まれたのか?』】を深く静思したものである。

『徐々たる愛の感化力のほか、何の勢力をも使ってはならないのである。』(内村鑑三; 1861-1930)を実感する日々である。

